（廿八日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢
廣告料 一行五十錢（指定廿錢增）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

議會政治の行程

覆面生

◎第五十六議會の終幕に際して、重要法案の累々たる死屍の中に恬として居据りを極め込んだ田中內閣の態度に對しては、その無恥無責任を難ずるものその無効的勇氣を嘆稱するもの、貴族院の對措非立憲を鳴らして間接に政府の負荷を輕減せんとするもの、政府貴院双方の態度を非難して所謂立憲政治の本義なるものを呈示して自ら安價なる陶酔を貪らんとするもの等々是非の論議が渦いて居る。政治家、政治學者、政論家の刻下の關心は議會終了期前後に於ける政府及貴族院の態度に對する批判を以て占められて居る。第五十六議會の戰績折判と閉會前後の政局批判が專ら政府と貴族院の態度に集中せられて議會政治に於ては寧ろ主演的役割を擔當すべき筈の在野黨が殆ど批判の對象より陷落し居るの事實は以て近來の奇現象とするに充分であるが、吾等はこゝに野黨の他力本願的無爲無力を算へて與黨諸公の快笑に資せんとするものでもなく、また月並的政局批判を伴食せんとするものでもない。議會政治政黨政治の現下の歪曲的行程に對して國民主義者が如何なる見解を持しつゝあるかを表白せんとすることが我等の寸言の唯一且つ全部の目的である

◎政府提出の重要法安の殆んど全部が算を亂して貴族院の壇上に斃死したるにかゝはらず、政府が堂々と解散を以て之に對抗するの路を擇ばず、また總辭職を決行して民衆と共に貴族の行爲が攻撃するの擧措にも出です、漫然居据りを行くの醜態に對しては如何に政府及びその黨與に好意を有するものと雖も敢て正面より辯護を試みるの勇氣をもち得ざるところであらう。然も一方に於て、衆議院を通過したる重要法案の殆ど全部を、否決といふ明瞭な形式を取らずして審議未了なる曖昧無責任なる形式を以て葬り去つた事は、如何に貴院を最負目に見るもど雖もその陰險且非立憲なるを咎めざるを得ないであらう。輿論が內閣居据りの醜狀を難ずるに急にして貴院の非立憲を看過せんとする如き觀ある何故であらう乎。國民の心意に於ける田中內閣の不人氣が然し大にして貴院の變則的行爲をも却て許容せしめつゝあるのであらう乎。吾等は他の言論機關の多數が見る如く或程度までは確に現政府の不人氣が貴院に對する國民の非難を減殺しつゝあるものと斷言する躊躇しない。然も吾等の觀るところにして誤りなくば田中內閣の不人氣は貴院の變則的行爲を許容せしめたる要因の全部ではなくして僅かにその一部分である。大半的要因は寧ろ政黨政治、議會政治そのものに對する國民の不信任蔑視、僧惡にあるといはなければならない。頻りに田中政府の不人氣を云爲しつつある在野黨そのものも亦國民的不信任、蔑視、僧惡の中樞的立場を占位しつつあるのである。政黨政治を厭惡する反動的傾向が國民をして貴族院の非本來的超範圍的の活動を期待せしむるに至つたのだ。

「悲しき報せ」

高橋妙子

茜さす日の朝ぼらけ
希望を胸に惜別の
袂にちるは露時の雨
螢雪の功積まばやと
都の地へと鹿島だち

×

み國の花の盛る日も
やしの葉簒る夏の日をも
錦衣織りなす秋の夕
枯木に花の冬の朝
早やも三年は杉の戶や

×

學府の道へ一と筋に
進まれからといふ身を
慰すは君が筆の跡
歸ります日のそののちを
胸に描いて夢結ぶ

×

夜卒の嵐が松風か
耳驚かす雷の
報らせは君が病に
呻吟苦腦の嘆きごと
血汐の流れもとどまりぬ

×

明の朝のおとづれは
君が彼の世の顏を
見んとは誰か思ふらん
希望も今は地に墜ちて
果敢き浮世うとまれぬ

×

呼べど答へは骸を
抱いて歸る故鄕の
山河蕭々聲はなく
六つの華は手向にや
暗をば絣と織りなせり

明日の吉凶

舊曆二月十九日　新曆三月二九日

▲一白 活氣滿ちたる天運にて開店事業始め皆吉▲二黑 自由行動の執れる日引込思案は却て損あり▲三碧 暗がりに物をさぐるが如く思ふ樣にならぬ日▲四綠 依賴心を去り自力を本位として精勵すべし▲五黃 脫線せざるやうに本業を大切に守るべき日▲六白 仕入れと緣談は注意すべきも他の事は皆吉▲七赤 我意を通さんとするときは意外の失敗あり▲八白 運氣次第に挽回し行く日秩序正しく進むべし▲九紫 人の事に口を出す時は爭ひを背負ひ込むべし

讀者欄

袖にすがる者

鈴木明治

袖にすがる方法にも色々ある。橋の袂に坐して「旦那樣ドウヂャ一文やつて下さい」と憐れつぽい聲を出す乞食もあれば、待合の奧座敷で酒池肉林の間に銀の貸附主任を骨拔き餡にする會社重役もある。或は又權門を叩いて莫大の袖の下を使ひ御用を承はる請負商人もあれば有權者の前に叩頭平身して稼ぎ一票を懇請する議員候補者もある。此等はその手段に巧拙の差こそあれ、何れも皆袖乞仲同類にして[illegible]な態度とは謂はれない。

一體への袖に縋る奴必ず自個の脚下に弱い所がある自個の脚下さへ確かりして居れば堂々と正面から爭ふても屹度勝てる。何故に腰を曲げる必要がある乎。或者は之を方便だと云ひ、或は又人生は妥協だなどと云ふ。畢竟一種の遁辭か、若くは負惜しみに外ならぬ

第五十六議會も漸く終了した。イヤ又この議會程要挺な議會は全く古今未曾有である。會期三ケ月を喧嘩許りに潰した。唯一の豫算案を除き重要法案は盡く不成立の儘に終つて仕舞つた政府の不面目は言ふ迄もないが、黨爭に沒頭した議會の瀆職罪も確に成立つべき價値がある。

處でこの議會を通しての政府の態度は餘りに袖乞主義に墮した。先づ衆議院の方は御大禮前後から實業同志會の袖を引き、或は憲政一新會の袂を握り最後に床次新黨と懐の裡で何やらクシャ〳〵握手をして、漸く切拔け得たが其間に現內閣本來の面目は著るしく複雜化され、妥協政治の本體を遺憾なく暴露した。

若夫れ貴族院に對する態度に至つては丸で成つて居ない。一重要法案の提出每に內々ソツト袂を引いて見るそれが却て形勢を惡化し忽ち手を引込める。復やへて見ては復失敗する。而して結局悉く皆た陀佛の引導を渡された。貴族院の諸公が面憎い迄に反り込る時內閣の諸公は手も足も出ない傍で見られた態でなかつたこんなことも珍らしい。

所が茲にまた一つ大問題が殘つて居る。それは樞密院に於ける不戰條約である尤も此方は特別御老體の集まりだ。別りがよい大したことには成るまいが要するに諒解運動にも程度がある說明と泣付とは譯が違ふ。見苦しいことは仕ないに限る。男は男らしくこそ有りたけれど我輩は考へる

講談 幕末[illegible]

(194)

渡邊默禪作　宮野歌春畵

お君は柄橋に身を沈めてから、何時とはなしに𢫣馴かして必要な步兵操典は一通りのみこんだ、そのお蔭で氣難かしく皮肉な富藏の難題をどうからか切拔けて先ず情郎の首をつないだが其先が又た一苦勞である。詳しい事情は知らぬけれども情郎が此樣な憂目に遇はせられてゐるのは、外に深い仔細が無くてはならぬ、勘太郎を殺すとか打首にするとか、凄い文句を初べるのは木村と富藏と手牒を合して、勘太郎をたとりに脅かし、いやといへば殺す、諾といへば助けるといふ兩手であらう、實際殺す意志が在るのではあるまいと推しては見たがいやとはいはれぬ此場の仕誼、是非なく要領を得たやうな得ないやうな返辭をして、一寸逃れをしたのであるがいよ〳〵手詰になつた場合には何と見捨てる決心ではねつけることが出來ないとすれば矢張此の身を犧牲にして彼の獸慾を飽かしてやらねばならぬ、それでは勘太郎に對して濟まぬ節操といふものに對して汚れた者になる。それが堪へられぬ堪へられぬなら斷らうか、そうしたならば嘘も實になつて面當に男の身へどんな危害を加へぬとも測られぬ、それも忍びぬことである。とは彼が差向きの一大苦悶であつた。

ふつと氣がついて酒といふ武器の力をかりることにした。成し得られるだけ富藏に媚びついて甘つたれて今にも解けさうな艶かしい素振を見せながら、しきりと酒をすゝめた。元より猩々系の男我を忘れて引受けた杯の數にだん〳〵と醉が廻つて遂には君の膝を枕にころりと頬がつた。忽ちにして蛇のやうな斯搖起しても返辭がない、枕の代りに座蒲團をまるめて頭の下に入れて窃と膝を拔く途端に富藏の懷中からかみいれがばたりと落ちた。

もしやと思つて四邊をみまはしつゝその財嚢を開けて檢めると、小判が四五十兩、外に受取書のやうなのが二三本、最後に奥から一封の手紙らしい物が現はれた

お君は妾宅時代から此の富藏も油斷のならぬ男と見てゐた、生好ないきざな奴と思つてゐた。案の如くそれが的中して、黑鼠なる特色が發揮され、藤屋の身代を乘取て了つたといふ吹聽深い事情は知らぬけれど必ずその間に陰險な奸惡なするい手段を弄したこと、想像された、否、想像ではない勘太郎が蹶起となつて罵り立てた言葉から考へても又た豫々話に聞いた木村逸齊といふ浪士が富藏と番ひになつて此の寮へ來て共に勘太郎を脅かす所を見てもその消息が十分に了解されたのである。此の矢先ふつと懷中物が頬がり出したのを見て或ひは此の中に彼の秘密を知る材料ともなるべき物がないか有るとすると必ず勘太郎の利益になるに相違ないと氣が注いて、熟睡を幸ひにそれを搜して見たのである。此の注意が空ではなかつた、意外の物を發見した、罪ではあるが男の爲だと手逸くそれを帶の間に隱して寢息を覗ひつゝこそ〳〵立上つて離座のにじり口から庭先へ忍んで出た

廣告

大和田醫院
平町南町
電話一七〇番

生花教授
池ノ坊流
生花を懇切叮寧に御教授いたします、た遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの

良い物、揃つた物
ヒナ人形陳列會
二丁目の
福田屋ふとん店

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乘心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は 三四三番
サシミ

開館十五週年記念謝恩特別大興行
廿八日替四大名篇
◇日活作品◇ 葛木香一、澤村春子
首賭商賣
武士は食はねど高揚子……と天下を濶歩する西國浪人源之丞も生きんが爲の首賭商賣
◇日活作品◇ 鳥羽陽之助、川上彌生
劍亂の森
千代田城築城繪圖を中心として奇々怪々なる事件の進展
◇日活名作◇ 竹久新、德川良子、澤蘭子
波浮の港
日活專屬ソプラノ歌頭 中屋幸子女史 特演
◇松竹作品◇ 市川右太エ門と一黨
かげろふ
頽廢し行く大江戶の末期、權門爲貴のみを裝い暴威を振い乍而も物慾に拘泥する事なき一代の快傑兒
爲謝恩 普通席 金十錢
日活松竹 平館 電四六六

廣告
一、本科生百名
尋常小學准教員並師範學校準備教育
一、普通科生第一學年生百五十名
中學校の學年同一程度
一、募集期限 三月三十一日限り
一、高等小學二學年卒業生は試驗を要せず入學許可す
右募集す
昭和四年三月
私立佑賢學舍

夜間診療
胃腸　梅毒
內科　十二指腸虫病　專門　內科部
淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
胃腸 性病 松村科醫院
（平南町電話一〇七番）

平町紺屋町
吉田眼科醫院

內科、小兒科（院長每日診療）。
院長 醫學博士 難波睦
副院長 醫學士 五十嵐雄次
內科部長 醫學士 中西林藏
外科一般
外科部長 醫學士 氏家憲介
每日曜手術 醫學博士 鈴木退輔
產婦人科、女子泌尿科
產婦人科部長醫學士 五十嵐雄二
顧問 醫學博士 川添正道
×光線科
主任 醫學博士 難波睦
本院醫事法制囑託 法學士 岡蕃
本院主事 賀澤忠治
御大典記念事業トシテ
一衛生試驗所（共濟病院內）十一月一日ヨリ開始
一病氣相談所（共濟病院內）十二月一日ヨリ開始
一救療所（共濟病院內）十二月一日ヨリ開始
◉看護婦見習募集
磐城 共濟病院 平町電話六四一番

△染色力……確實
△使用法……頗る簡便
△價格……低廉
定價……小瓶二五 中瓶三五 大瓶五〇
大販賣店 平町五丁目角 山野邊藥局

外科
婦人科
外科一般 耳鼻科 花柳科 產科 婦人外科
內科 X光線科
赤心堂病院
平町田町（電四五七番）

改正 片濱乘合自動車時間表

平發	五時三十分	六時三十分	八時	九時	十時	十一時	十二時二十分	一時五十分	三時	四時	五時二十分	六時三十分
江名發	五時三十分	七時	七時五十分	九時二十分	十時三十分	十一時五十分	一時	二時	三時三十分	四時四十分	五時四十分	六時四十分

平のりば 四丁目和泉屋前 新川町車庫
江名のりば 沖見屋 電話十四番 松屋
鈴木片濱自動車部
電話二一七 車庫呼出電話一四二

大谷氏を擁護せよと 平信用組合員厥起す

改革に名を籍る野心家の策動 物凄き烽の手揚る

平町信用組合の役員選擧は本紙既報の如く二十四日執行したが此の新役員中に現組合長大谷久藏氏の加へられてゐない事は同組合改革派と稱する一部が既に月餘に亘つて策動を試み大谷氏追ひ出しの謀策が見事適中した結果にして此の事を知つた多數組合員等は然かも同組合創立の功勞者にして十四ケ年勤續の現大谷組合長を恰も弊履の如く捨て去るは事由の如何に拘はらず徳義上忍び得ざるは勿論、假りに大谷組合長の組合經營方法に多少不滿の點ありとするも氏が今日迄の功勞は之れを容易に償つて餘りあるに拘はらず今俄かに氏を葬らんとするは其の間裡面に何等か野心を有するものゝ策動に出でた事は疑ふ餘地なく是非組合員の輿論徐すところあると三日「もう本紙既報の如く二十四日執行したが此の新役員中に現組合長大谷久藏氏の加へられてゐない事は同組合改革派と稱する一部が既に月餘に亘つて策動を試み大谷氏追ひ出しの謀策が見事適中した結果にして此の事を知つた多數組合員等は然かも同組合創立の功勞者にして十四ケ年勤續の現大谷組合長を恰も弊履の如く捨て去るは事由の如何に拘はらず徳義上忍び得ざるは勿論、假りに大谷組合長の組合經營方法に多少不滿の點ありとするも氏が今日迄の功勞は之れを容易に償つて餘りあるに拘はらず今俄かに氏を葬らんとするは其の間裡面に何等か野心を有するものゝ策動に出でた事は疑ふ餘地なく是非組合員の輿論徐すところあると三日「もう本紙既報の如く二十四日執行したが此の新役員中に現組合長大谷久藏氏の加へられてゐない事は同組合改革派と稱する一部が既に月餘に亘つて策動を試み大谷氏追ひ出しの謀策が見事適中した結果にして此の事を知つた多數組合員等は然かも同組合創立の功勞者にして十四ケ年勤續の現大谷組合長を恰も弊履の如く捨て去るは事由の如何に拘はらず徳義上忍び得ざるは勿論、假りに大谷組合長の組合經營方法に多少不滿の點ありとするも氏が今日迄の功勞は之れを容易に償つて餘りあるに拘はらず今俄かに氏を葬らんとするは其の間裡面に何等か野心を有するものゝ策動に出でた事は疑ふ餘地なく

大抵一年生即ち七八歳向きの洋服は二圓乃至三圓靴は草製よりもズック製のものを大抵穿くが八十錢乃至九十錢である、和服の生徒には草履と草履袋とが必要である（中にはズックの靴を穿いてゐるものもあるが）草履は十五錢乃至二十錢、草履袋は小形十五錢、大形四十錢、カバンは五十錢乃至八十錢、ランドセールは一圓五十錢からある

社會問題 としてその處置を考究して居る、このの

兄姉に伴はれて 愛し兒の初登校

洋服から書籍その他 **平地方の新學期**

新入生が 尋常一年生として來る四月一日いそ〳〵と校門を潜るのであるさてその入學の樂しい日もコレト面積ノ等シイ正方形ノ一邊ノ長サヲ考へ出シナサイ

第三問

ヨードハ何カラ採ルカ、又ヨードデアルトイフコトヲ知ルニハドウスレバヨロシイカ

第四問

(1)石炭ハ何カラデキマシタカ

(2)石炭ハドンナモノカラデキテキマスカ

(3)我ガ國デ石炭ガ多ク出ル地方ハドコデスカ

(4)石炭ハ何ノ役ニタチマスカ

第五問

次ノ文ノワケヲ答ヘナサイ

(イ)鬼の首でも取つた氣になつた

(ロ)石炭は早晩使ひ盡くされる

(ハ)怒と失望と後悔とに身も魂もくだけ果てた王は我にもあらず荒野の末にさまよひ出た

第六問

次ノ語ヲ用ヒテ短文一ツヅヽヲ作リナサイ

(イ)點在す

(ロ)從容として

(ハ)如し

(ニ)殊に

小名濱軌道の 連帶運輸 連日の大多忙

小名濱軌道株式會社が鐵道省との契約により去る三月一日より開始した連帶運輸は實施後非常の成績であるが即ち小名濱、江名より輸出された年産三十萬樽の荷は殆んど取扱至便なる連帶運輸によるものの如き非常に多忙を極めてゐる

當人連の喜ばぬ 深夜業の廢止

愈々近く實施する **平の常磐炭礦**

帝磐炭礦界でも婦人幼年工の深夜業廢止に就てそれ〳〵對策考究中であつたが現在常炭炭礦中無煙炭礦を除いた炭礦即ち入山、磐城農業、藤原炭礦に於て現在使用してゐる婦人は約千人ゐるが夜業廢止と同時に全部即ち婦人に代つて男坑夫を使用する事になるため人件費に於て大增額を來すことになるので頭を惱ましてゐる多數の婦人は總て坑内外の撰炭夫として從事して居りこの婦人の內作業に從事する婦人のみ

石城郡下各町村の小學校は卒業式も終つて懷かしい校門を去る少年少女のあとにはいたいけな

深夜業廢止は炭礦經濟上から見て非常に不利益となる問題である處からこれが廢止實施期には各炭礦とも坑内作業の婦人の

深夜業廢止に就て各炭礦とも從業員の意見を徴し慎重審議をやめさせ坑外作業の者は猶殘期間いつぱい使用することに大體決定した模様でした處に依れば東京方面の工場勞働者と比べて最も注意を惹くのは婦人の從業員に依つて失業する婦人は約四百名位に達するものと見にして身體の弱い者を除いた以外は經濟關係もあつて廢止には餘り贊成してゐない模様である

きのう來の惠雨に 櫻 俄かにふくらむ

新田町とカフエーが **美人の粒競らべ**

平町松ケ岡公園や新川堤の散在してゐるカフエー、バー等御多分に洩れず女給の櫻はきのう來の惠みの雨に顏の爭奪戰に必死となつてゐる現在平町の三十餘を數へる女給さんはヅヽ〳〵辯出でない中に綻び初めるかとさへ想はれるものもあり丸出しに

村嬢が大半を占めてゐる處から氣取つたモボ連からは餘りに閑却されがちなので最近になつて遲蒔な

平郵便局舍の新築 愈々四月起工

永びいた局舍の新築案 **今年中には落成**

平郵便局新築案は昭和三年つても四丁目角六百餘坪の敷地は空地となつてゐるところに依ると「實際に年度內に工事に着手する豫定であつたので地質の下調査も終り本省から許可があればすぐさま着手出來たのであるが未だ何等通知もなく何分此の局舍は仙臺管下に於ても一二の老朽なもので現在平町勢から觀ても改築りますが例を二つ宛擧げは目下の急務で益々事務區域の擴張するのは目に見えてゐるから此の儘では到底狹隘に迫り事務を執る事は非常な困難であるから是非四年度に於て着工し實現を期したいと」云々

植田署長病む 石城郡植田警察署長後藤清喜氏は病氣の爲め去る二十六日

養蠶同業組合で 技手一名を增員 片倉氏の寄附で

石城養蠶同業組合では從來學校に總會を開きいはゆる技術員は成田技手一名であつたが來る四月一日からは否を會長ならびに會計にたつたが之れは片倉磐城製絲工場設立に多大の援助をなしたものとして片倉直人氏より同組合に二千圓寄附を圓使途に就ては會計主任を申出でたのでこれを二名の中心に一問題が起るものと技術員設置費に充つる譯であるから益々同組合は內容充實となるので郡下養蠶界に新規軸の活動をなすものと觀られてゐる

四倉軍人分會 問題は噓 眞相漸く判明

石城郡四ツ倉在鄕軍人分會の深夜業廢止に就ては會計主任を

農民講習會

逸早く申込み

石城郡農會主催第二回中堅農民講習會は來る四月上旬より開始する筈であるがボツ〳〵各町村から其の實績を認られ申込も多數を豫想され申込名の講習生が推薦され高久村農會からは二名の講習生が推薦されたのでそれ〳〵準備

石城民政黨 近く演說會

民政黨石城支會では四月中旬頃現內閣打倒政演說會を平町、植田町等に於て催すべく辯士松田源治氏外數氏に交涉中である

薪材を盜む

四倉署で取調中

石城郡大野村大字玉山居住萩宅治郎(四二)は去る二十二日同村酒井桑吉所有山林內から樵薪を窃取した處を四倉署の手に逮捕されたが餘罪ある見込で引續き取調べを受けてゐる

春の魁 城山の櫻 疾ふ咲き初め

平町地方に降り注ぐジダ〳〵となり人夫は急造開墾並に畚業計畫を附議した

資金の調達 養蠶期を控ひ 郡下の農村況

石城郡地方農村は春蠶播立てを前に農繁期に入らんとし目下二毛作の手入れ並に乾田の耕耘に忙殺されてゐるが何せ本年は米價安の爲め肥料の買入れに相當今から苦心を拂つてゐるが更らに各養蠶家は養蠶資金の調達に迫られ相當苦腦してゐる

石城清酒 喇酒會

五日より三日間

平稅務署に開ぐ

石城郡酒造組合主催のり酒會は四月五日より三日間平

內郷村御厩大勝溫泉に靜寂稅務署樣上に開催七日に

實技奧式を擧行する部出品札棚に懸命に一時は非常の點數は約二百點に達する見込で審査長として縣醸工課技師小池嘉之氏來平の筈である

平藥劑師會 けふ發起人會

平町在住の藥劑師は十數名あるが未だ組織立つた集團がない爲め不利不便なので一度に春が押寄せて來たやうな好日和となつた——春の魁とも言やうか城山磐女校々舍の裏學園に在る櫻樹に二三日前から珍らしく花が咲き出した同校先生達は珍らし珍らしで交る〳〵見物の珍重振り未だ誰も知らぬのか枝引く人もなく春を獨占したかの樣に咲き誇つてゐる

◆藝者も三十の年になつては一カドの姐さん株になつて居るようでなくては駄目だ、新田町には今年三十を起した藝者が四人ある、尤もソレ以上の姥櫻もあるが先づ最高が谷口の大姐さんを初め光惠、小光、小六と云ふ所だ、なんだか茄子の木は地主だといふ噂が思ひ出される、色が黒くてセイが高く秀勇などは茄子の木の地主といふ處だ◆そこで棚借り身分の光惠は夕顏で、南瓜は小六といふ役割だらう、オイ茄子だの夕顏だのつて言はれたつて怒るなよ雪チンこわしちや大屋が泣くぜ。

◆內臟外科 ◆外科一般 ◆花柳病科

入院隨意 自炊の便あり

平町田町大通り

安齋外科醫院

電話四三六番

生徒募集

產婆・看護婦學校

平南町 平 產婆 看護婦 學校

清野きよ

◇婦人にも職業の必要な時代が參りましたそして婦人に最もよろわしい職業は……

產婆・看護婦でしよう

一ケ年で卒業が出來、收益も多大で又家庭の一助ともなる產婆及看護學をお薦め致します

（入學無試驗）

◇申込期日四月八日迄 電話三〇七番

市原病院

（入院隨時） 電話一一四番

內科、小兒科 市原卯太郎

外科一般、婦人科 市原陸郎

外科、梅毒、淋疾 市原三三男

皮膚病

平町田町本通

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント株式會社特約代理店

和洋銅鐵金物問屋 ㊄ 釜屋商店

諸橋久太郎

電話九番 一三九番

振替貯口金座東京一〇九五六番

確實敏捷は㊄の生命なり

電燈より接續してすぐ寫る

家庭活動寫眞

パテーベビー活動寫眞機

映寫器 八〇、〇〇〇

撮影器 六五、〇〇〇

フヒルム 一本 二、〇〇〇

生フヒルム 一本 一、〇〇〇

二、五〇〇

市內はお伺ひして御覽に供します

御申越次第カタローク進呈

平町二丁目

パテーベビー社代理店 西村屋藥舖

電話三番